

平成 21 年 7 月 16 日
気 象 庁

熱中症に関する平成 20 年度の取り組みについて

気象庁は、大雨や暴風、地震、津波、火山噴火などの自然現象を常時観測するとともに、各種情報を発表することによって、災害の防止・軽減、交通安全の確保、産業の発展への寄与、国民生活の利便の向上、地球環境問題対策への寄与等を図っています。

平成 20 年度における熱中症に関する取り組みは、以下のとおりです。

1. 気温の予報

日々の天気予報において、全国 171 の代表的な地域の最高気温等の情報を提供するとともに、民間気象事業者等が熱中症に関連したサービスに活用できるよう、気温等の観測・予測データを提供しています。

2. 気象情報による熱中症への注意を呼びかけ

気象庁では、高温に関する健康管理への注意喚起を気象情報等で呼びかけています。特に一部の地方气象台（埼玉県、沖縄県）では地元の保健健康部局と協議の上、『府県気象情報¹』（別紙 1）により熱中症を明示して健康被害への警戒を呼びかけました。

特に、これらの情報は、地方自治体へ伝達されるばかりではなく、テレビラジオ等を通して一般住民に伝えられています。

3. 次世代アメダスの整備

平成 19、20 年度の次世代アメダスの整備等により、新たに全国 750 箇所以上の観測所で、より細かい間隔のデータから求めた日最高気温等の提供を開始し、熱中症対策の基礎となる気温データを充実させました。

4. 異常天候早期警戒情報の提供

社会経済活動に大きな影響を及ぼす天候の発生する可能性（かなりの高温やかなりの低温など）を、できるだけ早い段階で発表し、その天候によって受け

¹ 『府県気象情報』は、観測成果の発表や予報事項に関する情報を一般及び関係機関に対して発表し、円滑な防災活動が実施できるように防災機関や一般の住民を支援することで、公衆の利便を増進させることを目的として発表しています。

るリスクを軽減することを目的に、平成 20 年 3 月より異常天候早期警戒情報の提供を開始しました。

本情報は、情報発表日の 5 日後から 14 日後までを対象として、関東甲信など地方予報区の 7 日間平均気温が平年より「かなり高い」または「かなり低い」気温となる確率が 30%を超えると予測した場合に、その確率や注意事項などを情報文として発表しています（別紙 2）。また、情報の発表に関わらず、検討の元になる「確率予測資料」を毎週火・金曜日に気象庁ホームページで公表します。

5. ヒートアイランド現象の観測・監視

気象庁では「ヒートアイランド対策大綱（平成 16 年 3 月策定）」に基づくヒートアイランド現象の観測・監視に取り組んでいます。

平成 19 年度までに関東地方と近畿地方を対象に都市気候モデルを用いた気温と風の解析を行い、平成 20 年度には我が国の 3 大都市圏の残る一つであった名古屋市を中心とした東海地方について解析し、平成 21 年 5 月 29 日に公表しました（別紙 3）。

これらの成果は、気象庁ホームページにヒートアイランド監視報告として、下記 URL に掲載していますので、熱中症対策の基礎資料として、都市化による気温上昇に関する本資料をご活用ください。

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/index.html>

「高温に関する埼玉県気象情報」の発表例

高温に関する埼玉県気象情報 第1号

平成19年8月16日05時00分 熊谷地方気象台発表

(見出し)

埼玉県では、昨日(15日)に引き続き今日(16日)日中も気温が高くなり、予想最高気温は熊谷市で38度となる見込みです。熱中症などに注意して下さい。

(本文)

16日朝の最低気温は、埼玉県の各地で25度以上となりました。

本州付近は、今日(16日)も引き続き太平洋高気圧に覆われ、晴れて気温が上昇し、厳しい暑さになる見込みです。予想最高気温は熊谷市で38度、さいたま市や秩父市で36度となる見込みです。屋外での活動、熱中症など健康管理に十分注意してください。

「異常天候早期警戒情報」の発表例

高温に関する異常天候早期警戒情報（関東甲信地方）

平成20年7月29日14時30分

気象庁 地球環境・海洋部 発表

要早期警戒

警戒期間 8月3日頃からの約1週間

対象地域 関東甲信地方

警戒事項 かなりの高温（7日平均地域平年差+1.7℃以上）

確率 30%以上

8月3日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上となっています。

健康管理や農作物の管理等に注意して下さい。また、今後の気象情報に注意して下さい。

なお、本情報は8月3日から8月12日までを検討の対象としています。

ヒートアイランド報告による東海・関東・近畿地方の解析例

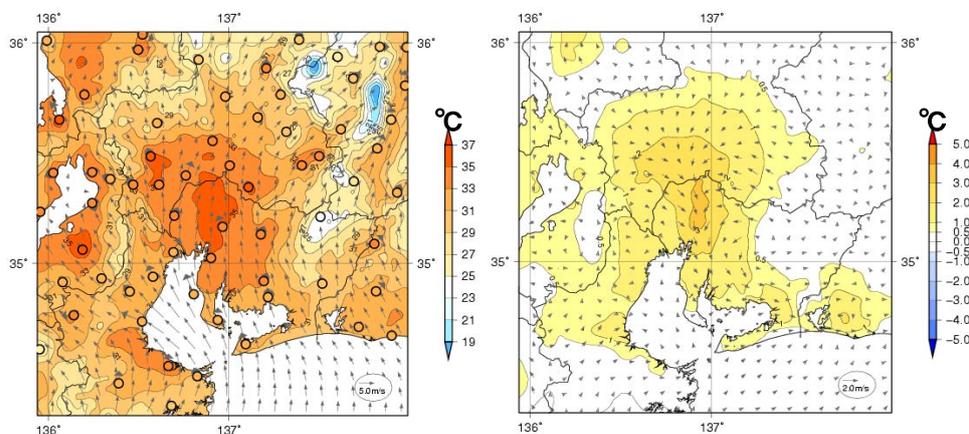


図1 東海地方における解析結果(2008年8月12日午後3時)

左図は気温と風の分布、右図は都市による気温上昇と風の変化(「都市がある場合」と「都市がない場合(都市領域を仮想的に草地に置換)」のシミュレーション結果の差)

この日は晴れて風が弱く、ヒートアイランド現象が顕著に現れる気象条件となり、最高気温は名古屋で 36.3°C、岐阜で 34.9°Cを観測した。都市による気温上昇の影響は濃尾平野の広い範囲に及び、名古屋市付近で 3~4°C程度、岐阜市や多治見市では 1~2°C程度の気温上昇が見られる。

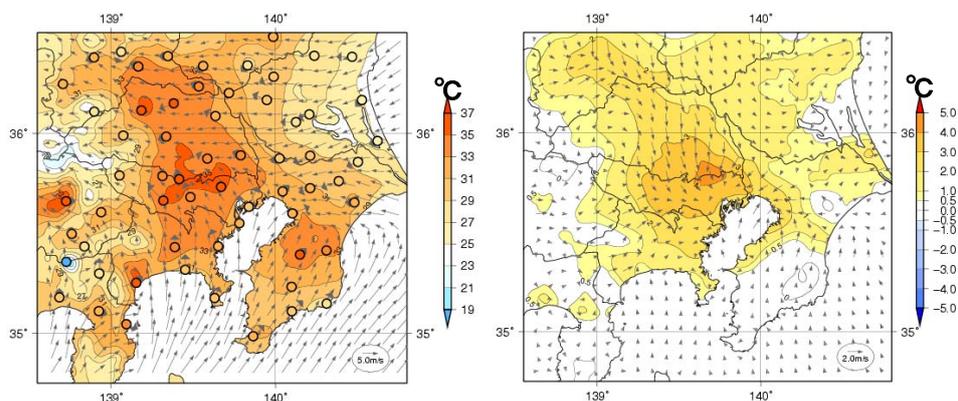


図2 関東地方における解析結果(2008年7月25日午後3時)

最高気温は東京で 34.5°C、熊谷で 36.2°Cを観測した。この日の都市による気温の上昇は、都心部で最大で 3~4°C、周辺の広い範囲で約 2°C程度であった。

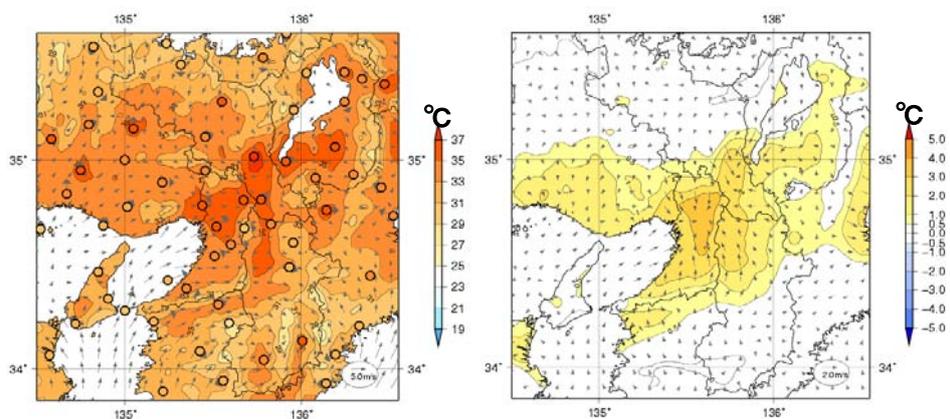


図3 近畿地方における解析結果(2008年7月25日午後3時)

最高気温は大阪で 36.3°C、堺で 34.3°C、枚方で 35.9°C、京都で 37.7°Cを記録した。

平成 21 年 7 月 16 日
気 象 庁

熱中症に関する平成 21 年度の取り組みについて

平成 20 年度に取り組んだ各施策について、引き続き確実な実施に努めるとともに、以下のとおり、熱中症への対応を強化して、国民の安全・安心な生活を確保するため、努めていきます。

1. 天気予報による熱中症への注意を呼びかけ

予め定めた目安を超える高温が予想された場合に、毎日の天気予報で「〇〇県では高温が予想されるので、熱中症など健康管理に注意」との表現を用いて健康被害への注意の呼びかけを新たに実施します（別紙 1）。なお、従来のとおり、気温が高くなることやその状態が数日続くことが予想された場合、気象情報で警戒を呼びかけます。

2. 気象庁ホームページでの熱中症に関する取り組みの紹介と普及啓発

気象庁ホームページのユーザーに対し、気象庁の取り組みを紹介するページを作成するとともに、より詳細な熱中症への理解促進のため、環境省熱中症サイトへのリンクを張り、熱中症対策についての普及啓発に努めます。

熱中症に注意を呼びかける天気予報の発表例

天気概況

平成 21 年 7 月 9 日 04 時 35 分 高松地方气象台発表

四国地方は、山陰沖に停滞する梅雨前線の影響で、雲が広がり雨の降っている所があります。

香川県の 9 日は、梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、雲が広がり、午後を中心に雨や雷雨となる所があるでしょう。香川県では高温が予想され、熱中症など健康状態に注意が必要です。

10日は、梅雨前線がゆっくり南下してくるため、雲が広がり、夜には雨が降り、雷を伴う所がある見込みです。